

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

世界へのプレゼントになろう
Be a Gift to the World



「どう生きるか」諸事を見直して
実践しよう

国際ロータリー会長 K. R. ラビンドラン 2015～2016 富津中央RC会長 千葉 一利
国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2413 第16回例会 2015. 10. 22 晴

点 鐘：千葉一利 会長
進 行：小野恒靖 副 SAA
ソング：手に手つないで

会長挨拶

千葉一利 会長



皆さん今日は。食べ物のおいしい、そして大変しのぎやすい季節となりました。お元気でしょうか？私は風邪をひきなかなか治りません。

最初に本日のお客様をご紹介します。地区米山記念奨学会委員の上野聡様です。それから今日の卓話者のジルモトさんです。ようこそおいでくださいました、よろしくお願いいたします。

尚米山に関しては先週、概略の説明がありましたし、来週には米山記念館の見学を予定しています。そして今日は奨学生の方より直接お話が聞けます、どんなお話なのか期待しています。同時に奨学生の皆さんが人類の親善と、世界平和の為に活躍

されますよう、ご祈念する次第です。

次に成田空港南RCの50週年に参加された4名の方ご苦労様でした。感想をお聞かせください。

13日の大貫中への電子ピアノの贈呈式ご苦労様でした。大貫中の川名校長より皆様によろしくとの電話がありました。なお24日の文化祭で電子ピアノを使つての演奏会がありますので是非お出かけくださいとのことでした。

又この後「さきぐさ」の誕生会について、「さきぐさ」の平野さんよりお話があるそうです。本日は志波さんの卓話も残っていて、盛りだくさんですので私の話はこの程度にします。なお例会後理事会を開きます。

幹事報告

高橋裕之 幹事

1. 地区大会開催のご案内(回覧)
2. 「奉仕プロジェクト卓話依頼書」(回覧)
3. 地区ローターアクトクラブより「書き損じハガキでタイの子供達に奨学金を贈る」協力依頼(回覧)
4. 地区米山記念奨学会からお願い(回覧)
5. 君津RC例会変更案内
11/2(月) 休会 定款第6条第1節c項
11/9(月) 点鐘:12:30 場所:ホテル千成
13:00～駅前花壇花植え

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



6. 木更津東RC役員変更案内
 会長エレクト:藤野勉→林孝二郎
 副会長:林孝二郎→大澤藤満
7. ケアセンターさきくさより施設慰問の依頼
 日時:12/3(木) 14:00~15:00
 場所:ケアセンターさきくさ デイルーム
 40分間程のプログラムをお願いしたい
8. 大貫中学校文化祭の案内
 日時:10/24(土) 9:10~15:10
 会場:富津市立大貫中学校 体育館

委員会報告

口財団・米山委員会

須藤 隆 米山担当部長



今月は米山月間です。例年、米山月間に合わせて、皆様に米山奨学会への寄付のご協力をお願いしております。普通寄付の年間4,000円は年会費から充当し、特別寄付について今月末までに皆様から寄付をいただきたくお願いします。寄付の金額としては一人10,000円以上を目標としております。たいへんお願いしにくいことではありますが皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

卓話者紹介

米山奨学生ジルモトさん(内モンゴル出身)

須藤 隆 米山担当部長

皆さんこんにちは。今月は米山月間で、先週は私からの米山についての卓話の中で、厳正な審査の下に選抜されている米山留学生は大変優秀であるお話をしました。今日はその留学生の卓話者として、内モンゴル(中国籍)からの留学生、ジルモト

(吉日木図)さんをご紹介します。

ジルモトさんは千葉大学工学研究デザイン科学専攻の博士後期課程に属し、来日して8年になるそうです。将来は母国と日本との懸け橋と親善の役割を担っていただけることを思いながら、本日の卓話をお聞きしたいと思います。ご清聴よろしく願います。

地区米山委員会委員 上野 聡様(市原 RC)



皆さんこんにちは。本日は、お時間を頂き、ありがとうございます。私は、2790地区米山記念奨学委員会の上野です。所属は、市原ロータリークラブです。よろしくお願いいたします。

本日は、米山記念奨学生ジルモト君の卓話の随行で富津中央RCの例会に出席させて頂きました。卓話の前に地区米山記念奨学委員会の活動及びお願いについてご説明いたします。

今年度、地区米山記念奨学委員会では、重点活動計画として以下の3点を掲げました。

1. 大学奨学金担当者・指導教員へのロータリー活動と米山記念奨学会の目的趣旨の周知
2. 米山奨学生へのロータリー活動と米山記念奨学金制度の目的趣旨の周知
3. 米山奨学生と世話クラブ・学友会との継続的関わりでの育成

すでに4月の【奨学生・カウンセラーオリエンテーション】以来、5月例会から奨学生は世話クラブの例会に出席し始め、6月6日の【奨学生研修会】で、

ロータリー活動や米山記念奨学会について再度研修の機会を設けました。現在は緊張もとけ、徐々にカウンセラーや世話クラブのロータリアンの皆さんとの親睦が深まり信頼関係も構築されつつあると考えます。

地区委員会では7月9日に【大学説明会】を開き、地区内の大学に対し、次年度の米山奨学生募集のための詳細を説明し、大学の奨学金事務担当者や指導教授に、もっとロータリー活動や米山奨学金制度を知ってもらう必要を伝えました。7月25日には、指導教授を交えた、【奨学生・カウンセラー・指導教授研修会】を開催し、カウンセラー、指導教授が顔合わせをして、世話クラブの例会にも年に一度は出席するようにお願いをしたところです。

地区委員会では、次年度以降、4月のオリエンテーションに指導教授を招いて研修の機会を作り、世話クラブの例会出席や、学友会行事への参加、終了式への参加などを求めつつ、米山記念奨学会への理解を醸成しつつ、その熱意を指定校選定の際の評価尺度に加え、また学内選考における国籍の偏りの是正につなげていきたい考えです。

奨学生には6月の研修会以来、ロータリー活動と米山記念奨学金制度について、改めて理解を深め、将来母国と日本との架け橋となって国際親善と国際平和のためにつくす自覚を訴えてきております。それはいきつくところ米山奨学生と世話クラブ・学友会との継続的関わりをいかに考え育てていくのかということにつながります。奨学期間が終わってから考えるのではなく、奨学期間中から「架け橋」「国際親善」「国際平和」「ロータリーファミリー」の思いを抱き、深めていくことが大切だと思い、卓話の内容を考える機会に、見つめ考えるようにアドバイスしているところです。

すでに皆様のお手元には、2015-16年度版の豆辞典が配布されていると思います。2790地区の2014-15年度の個人平均寄付額は、

16,039円で全国平均の15,996円を若干ですが上回って居りますが、特別寄付の割合は、36.3%なので、これを上回るパーセンテージで一人でも多くの皆様が特別寄付を頂けると2790地区の平均寄付額が上がります。本年度の寄付は、2017-18年度の奨学生の2790地区の割当数に影響します。2790地区で少しでも多くの奨学生を迎え入れるには、皆様のご寄付が重要になって参ります。よろしく願いいたします。

卓話

米山記念奨学会奨学生(千葉大工学部)

ジルモト様



皆様、こんにちは、2015年度ロータリー米山奨学生のジルモトと申します。世話クラブは佐原香取ロータリークラブです。千葉大学博士後期課程3年生です。本日、皆様に卓話のチャンスをいただき誠にありがとうございます。この貴重なチャンスをきっかけに皆様に自己紹介と故郷内モンゴルについて話したいと思っております。よろしく願い致します。

日本に来て八年目になります。「お国はどちらですか？」という質問に答えるときは、今でも少し戸惑います。私はいつも「中国国籍を持つモンゴル人」と答えています。このように答えたほうがより良く自分のアイデンティティを表すことができると思います。なぜならば、私は中国の少数民族の一つであるモンゴル族の人であるからです。

モンゴル人やモンゴル遊牧生活と言えば、皆さんの頭に浮かぶのはだいたいロシアと中国の間に挟まれている国「モンゴル」だと思いますが、世界のモンゴル人がもっと多く生活している地域は内モンゴルというところです。内モンゴルとは中国領土の

北沿に位置する自治区の一つです。チベット、ウイグル自治区を続き三番目の大きい面積を持つ自治区になります。その大きさは日本の約三倍になります。その土地は昔から草原地域であり、モンゴル遊牧民が代々生活してきたところです。どうして「モンゴル」と「内モンゴル」になったのかというと、それは、中国では、モンゴル国のことを「外モンゴル」、内モンゴル自治区のことを「内モンゴル」と呼ぶからです。ちなみに、モンゴル人は日本の関東、関西と同じく、「北モンゴル」「南モンゴル」と呼びます。

内モンゴルでは、人口の80%以上が漢民族という構成になっていますが、内モンゴルのモンゴル人は、チンギス・ハーンの誇りを持ち、モンゴル人であることを忘れていません。例えば、内モンゴルのオルドスという地域では、チンギス・ハーンの霊廟が存在し、代々その守り番を勤め、その祭祀の内容も700年前と変わっていません。また、現在内モンゴルだけチンギス・ハーンの時に作られた伝統的モンゴル縦文字を使用しています。このように、内モンゴルのモンゴル人は、伝統文化への思いや保護活動に積極的に取り組みモンゴルアイデンティティを強く守ってきました。

しかし、内モンゴルで1980年代から推進され始めた牧草地の私有化する制度などにより、モンゴル人の従来の遊牧生活がだんだん消失し、遊牧から定住へ変化してきました。私はこのような変化の中に生まれ育ちました。幼いころの遊び、生活、教育のすべてが「モンゴルしかありませんでした」。それは、今日の内モンゴルと別の世界でした。

私は、姉二人との三人兄弟の三番名で、父は医者で、母は遊牧民です。小さい頃は親子三代の大家族で馬、牛、羊、ヤギの四種類の家畜を放牧しながら生活をしていました。ある日、馬が家畜泥棒に盗まれ、一頭の暴れ馬しか残っていませんでした。気性の激しい馬でしたが祖父の最愛の馬でした。私が6歳の時に祖父がその馬を売り出し、我が家に馬という家畜はいなくなりました。その後、母から聞いた話ですが、祖父が最後の馬を売り出す前に私のために鞍を用意してくれたらしく、「男ですから、いつかこれをものにできる時期も来るかもしれません」と母に言ったようです。祖父が用意してくれ鞍を

使う日が来るかわかりませんが、もっと大切にしていきたいと思います。それは、祖父が「モンゴル人であることを忘れてはいけない」という思いがこもった品物です。

私が小学校の時、祖母から祖母が12歳の時(1942～1944年の間)に日本人が作った「張北青年学校」に通っていたという話を聞き、日本と出会いまして、日本という国に親近感を持つようになりました。内モンゴルでは、年寄りの方は日本という正式な名前をほとんど使わず、日本のことを「ナラン・オロス」(太陽の国)と呼びます。私が日本に留学しに来る時に祖母が私に『太陽の国の人には皆モンゴル人と同じく、「郷に入れば、郷に従う」いい人だ、行ったことないがきっといい国だ』と言っていたことを覚えています。



日本に留学する前、私は、内モンゴルでグラフィックデザイナーの仕事をしていました。先ほども紹介したように内モンゴルでは全人口の八割以上がモンゴル人以外の他民族であるため、仕事上は様々な民族の人と接触することが多く、「文化の違い」ということを頻りに感じていました。そして、次第に「文化とはなんだろうか」という疑問が、自分のなかで大きくなり、こうした問題を追求するため、日本への留学を決意しました。そこで、千葉大学「デザイン文化計画研究室」に入り、研究生・修士課程を経て、当研究室で博士後期課程に進学しました。無くなって行く遊牧生活、多文化に影響され、変えられて行く内モンゴル人の現状に胸を痛め、「内モンゴルの今日の姿をモンゴル人が自ら改善していくべきだ」ということを深く考えるようになりました。私の研究内容を一言でまとめると「内モンゴルのモンゴル人がモンゴルアイデンティティを継承して行くために、モンゴル遊牧文化を今日の定住生活の中で

どのように活かすか」ということになります。具体的にいうと、ある特定の地域を対象として生活習慣、伝統行事・通過儀礼などの分析によって、遊牧生活の最も魅力のある要素を抽出し、それを今日的な見方に基づき、再生・創生に関する具体的な方法をまとめ、デザイン提案としてその地域に還元するものです。いわば、日本の地域おこし、地域振興の遊牧バージョンと理解していただければいいと思います。

モンゴルには「土地、土地の習慣。グゼー(胃袋)、グゼーのすみっこ」という諺があります。それは、「地域にはそれぞれの固有歴史、先人達が築きあげて今日に創造的に継承されて来たそれぞれの文化を持っている」ということを表していると考えています。私の今までの研究を通して得られた知見は、「モンゴル」という大きな文化のなかでの一隅に過ぎませんが、今後、内モンゴルのみならず、遊牧アイデンティティの継承やモンゴル人としての共同体の構築にとって貴重な資料、情報となると考えています。

これまでに、学外活動では日本の伝統文化に触れ、農村地域の昔ながらの生活を体験する機会が多くありました。① 2009年6月、2011年6月の二回、福島県大沼郡三島町で行なわれた「ふるさと会津工人まつり」に参加しました。「ふるさと会津工人まつり」は伝統工芸品を販売するまつりですが、その多くは地域の住民たちが長い冬の間のものづくりとして製作した生活用具です。ものづくりをする高齢者と直接話すとても良い機会でした。② 2011年4月「ぐるっと山武50kmウォーク」を完歩しました。③ 2011年12月26日放送大学千葉学習センター「創作注連縄づくり」に参加しました。④ 2013年9月千葉県いすみ市「しあわせな生活づくりの郷」里道復活整備活動に参加しました。

工人まつりや里道づくり、注連縄づくりに参加して地域住民、高齢者と共に働き、直接話し合うことができ、とても良い経験でした。また、運動が苦手な私にとって「ぐるっと山武50kmウォーク」に参加し、50キロを完歩したことで、これまでにない喜びと達成感を味わうことができ、今まで自分ができなかったことにチャレンジする勇気を得ることが出来ました。このような学外活動によって私の留学生活はよ

り豊かになったと思います。日本に留学して八年目になりますが、生活面や社交的な面において、少しは慣れましたがまだ、完全に馴染んではおりません、まだまだたくさんの勉強や体験が必要だと思います。これからはできれば、みんなと一緒にする時間をもっと増やして行きたいと思います。このような活動に奨学生であるだけの時間ではなくOBになっても関わって行きたいと思います。

私は、運よくロータリー米山奨学生になったことに本当に感謝いたします。ロータリー家族の一員になったことを誇りに思っています。世話クラブである佐原香取クラブのロータリアンをはじめ、たくさんのロータリアンと出会うことができました。今年四月に行われたロータリー米山奨学会のオリエンテーションの後、カウンセラーの菊田さんからこんなメールが送られてきました。「地球上で知り合いになれる人は奇跡にちかいです」と。まさにその通りだと思います。特に内モンゴルの小さな田舎から来た遊牧民の末裔である私は、日本でたくさんのロータリアンと出会ったことに心から感謝しています。奨学生になってから経済的に非常に助かっています。アルバイトする時間を短縮し、研究や勉強に専念することができました。7月～8月にかけて一か月間内モンゴルで現地調査することもできました。半年前に我が家に娘が生まれ家族も増えました、奨学金がなければ生活はどのような状況であるか想像するだけでも不安になります。私が受け取っている奨学金は皆さんが汗を流して稼いだ寄付金で成り立っていることを忘れずに、大切に、大切にに使わせていただいております。本当にありがとうございます。

私は「運命はあなたの周りの人」という言葉が大好きです。ロータリアンの皆は成功者であり、心暖かい方ばかりです。このような方々と例会やロータリーの行事によって同じ時間を共にすることは、私にとって掛け替えのない宝物です。ロータリアンと出会った時から私の生活はもっと豊かになると信じていました。ロータリアンの皆さまと出会ったことによって、私も将来もロータリアンの色に染められていくことを切に願っています。

ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留

成田空港南RC50周年剪影

2015年10月15日

学生を奨学することを目的としています。将来、どのようにして日本と母国の架け橋になるのか？私は非常に悩みました。卓話のはじめに「中国国籍を持つモンゴル人」と自己紹介を始めた私は、米山奨学生の中でも特別な異色であるかもしれません。私にとって母国とはモンゴル高原であり、遊牧生活であり、モンゴル文化そのものだと思います。

私は将来研究者になるのが夢です。その夢に導いてくださった学校の先生や、手を差し伸べてくださったロータリアンの温かいご支援があるからこそ、私は夢に向かって頑張ることができています。日本に留学していなかったら今日の私はいません。日本という国は私の第二の故郷として永遠に心の中に生き続けると信じています。

将来、留学経験、研究成果、言語能力を活かして、日本とモンゴルの文化交流、研究領域の拡大に貢献できればと思います。なにより、ロータリアンの方々と同様、たくさんの人の為にかをできる人間になりたいと思います。

これからも頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



伊藤元雄会長の御挨拶



会場風景

ニコニコBOX

原田雅式 親睦担当委員

*上野 聡 奨学生ジルモト君の時間を頂き感謝
平野 洋(さきぐさ職員) 12月3日よろしく。

*石渡 鋼 ローター歴39年にして良きことあり。

成田空港南RC50周年パーティにて、あの五月
みどりさんと「銀恋」デュエット、栗原さんスマナイ。

千葉会長 米山奨学生をお迎えして

須藤 隆 " "

* >1,000 円 合計 7,000 円



ハーフタイムショー 銚子太鼓阪流会

出席報告

白石幸久 出席担当委員

| 区分 | 会員数 | 出席 | 欠席 | MUp | 出席率 |
|-----|-------|----|----|-----|--------|
| 今回 | 27/25 | 19 | 6 | 1 | 80.00% |
| 前回 | 27/25 | 13 | 9 | 8 | 84.00% |
| 前々回 | 27/25 | 16 | 9 | 4 | 80.00% |

総会員数：28名－休会1名＝27名



五月みどり ショー